

今年度も地籍の調査を実施します

対象地区：高砂町・入江・泉の一部



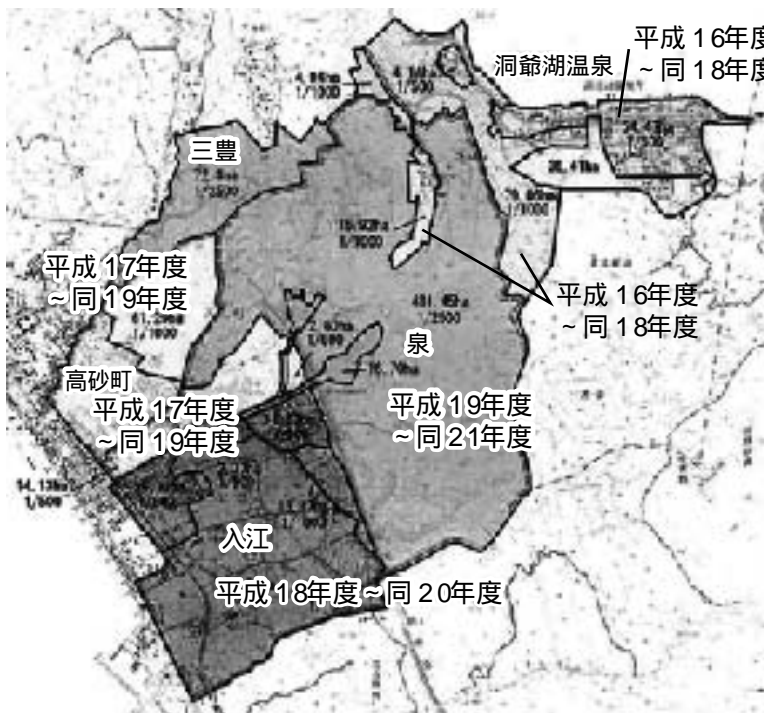
洞爺湖町では、2000年噴火による地盤変動の影響を受けた土地の境界及び面積を正しく把握するため、平成16年度より地籍の再調査を行っています。

調査期間は1地区3年を要し、初年度に、調査についての住民説明会を行いますので、参加を願います。

説明会の案内については、後日、土地所有者の方にご連絡します。

調査に当たり町民皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

洞爺湖町地籍調査年度計画



不明な点などありましたら、建設課地籍調査推進室（74-3012）へ。

調査年度については次のとおりです。

平成16年度から平成18年度まで

洞爺湖温泉の一部・三豊の一部・泉の一部の地区

平成17年度から平成19年度まで

高砂町の一部・入江の一部

泉の一部の地区

平成18年度から平成20年度まで

入江の一部・泉の一部の地区

平成19年度から平成21年度まで

三豊の一部・泉の一部・洞爺湖温泉の一部の地区

わたしのうた

短歌

【あぶた短歌会】四月定例会



待ちをりし春も来たるか水仙の葉も出揃ひて蕾いだきぬ

北島 加代

春一番の風も過ぎ去りて小庭の木々の芽ぶき確かさ

大西 芳子

ゆるやかにぼたん雪降る窓の外岳樺の樹林がひっそりと立つ

伊藤 静子

高みより見おろす夜の街の灯はさながら金銀ちりばむことし

山本 孝

うら庭の石化柳の枝えらび銀毛の蕾活けて春呼ぶ

石黒まさ子

有珠山に連なる山を二つ割り二三〇号線新しく竣る

赤塚 瑛子

喧騒をしばし忘るる露天風呂に選挙の連呼は現実にもどす

太田 智

老眼鏡かけしも不鮮明なる文字に天眼鏡を頼り辞書を引く

室野 晃慶

着ぶくれて真白き髪のパバとなり厚きところで孫を送りぬ

中野 イマ

名残り雪被り乍らも福寿草庭に散々と春を奏ふる

大久保とみ乃

俳句

【あぶた俳句会】四月定例会

朗朗の若き読経や彼岸冷え

那須 伶子

ポスターの良き貌ばかり黄砂降る

井村 育子

父と子の空をひとつに春スキ

矢野 知子

風花や裸の像を避けて舞う

瀬川 稔

十勝晴白樺並木麦青む

三瓶 修

蓬餅色の濃ゆきの匂いかな

小笠原 勇

止むを得ぬ旅の変更彼岸荒れ

塩川サチ子

四月また子を訪ふ地図を買ひにけり

菅原 敏子

草の餅頬張る頬も膨らんで

白井 みえ